



愛情と信頼に満ちた明るく活気のある学校 地域に支えられ子どもたちと保護者に愛される学校

さきばるだより

創立115年 奄美市立崎原小中学校 学校だより 令和5年4月号

令和5年4月28日発行

～児童生徒会スローガン～

光

共に笑おう 共に進もう
個性で彩る30の夢

のび太くんから学ぶ

崎原小中学校 校長 鑑 謙治

先日、小学5・6年生の道徳の授業に参加させていただきました。タイトルは「のび太に学ぼう」でした。子どもたちにアンケートをとると、みんなのび太が好きだということが分かりました。テストの成績はいつものように0点。運動もからっきしできない。よく寝坊する。などなど、あまり優秀ではないのび太が好かれる理由について考えてみることにしました。教科書には、のび太のいいところが主に4つ書かれていました。①いつまでも落ちこまない②だれにでも優しい③熱い心を持っている④よりよく生きようとするの4つです。

1つ目の「いつまでも落ち込まない」は、現代を生きていくためにはとても大切なことです。いつも激しく落ち込むのび太ですが、その後は「あきらめのいいところがぼくの長所」とまで言っているのです。2つ目と3つ目は割愛させていただきます、4つ目の「よりよく生きようとする」では、未来の大人になった自分にこのように告げられます。「きみはこれから何度もつまずく。でもそのたびに立ち直る強さも持っているんだよ。」と。人は人である限り、何度も困難にぶつかりつまずきます。私もたくさんの困難にぶつかり、たたきのめされてきました。しかし、その度になんとか立ち直ってきたから、今の自分があります。困難にぶつかるたびに人は優しく成長できます。のび太の優しさは「つらい思い」をしたからこそ身についたものなのではないでしょうか。

よく教師は「長所を伸ばして、短所を減らす」といいますが、私はこのことを昔から疑問に思っていました。短所がない人間なんていない。しかし、短所を気にするために自己肯定感が下がってしまう子どもたちが多いような気がしてなりません。ですから、これからの時代は「短所も自分の一部で大切なもの」と認めることが重要なのではないかと思います。もちろん、周りの人に心配や迷惑をかけることは減らしていかなければなりません、それ以外のことは、のび太のように気にしない。そしてそんな自分を愛することができる。そんな子どもたちになって欲しいと思います。そして、周りの人たちも一人一人の特性を理解した上で、一緒に毎日を楽しくしていく。そんな崎原小中学校でありたいと思います。

詩人・書家「相田みつをさん」の作品に『にんげんだもの』がありますが、にんげんだもの前にこんな文章があります。『七転八倒つまずいたり、ころんだりするほうが自然なんだ。にんげんだもの』人は、生きている間、うまくいくことの方が少ないと思います。おそらくほとんどがうまくいかないことです。であれば、うまくいかないことをよくよするより、次に繋げる方がずっといいと思います。できなかったことを注意するより、できるためにどうすればよかったかを大人と子供で考えていければ、きっと自己肯定感が高まると思います。

いつもくよくよしているような気がするのび太ですが、本当は、だれよりも人間らしく、だれよりもたくましい人なのかもしれません。

令和5年度の職員を紹介します

校種	職	氏名	学年	教科
小学校	校長	鑑 謙 治		
	教諭	愛 島 一	1・2年	
	教諭	安 田 京 子	3・4年	
	教諭	藤 田 美 優	5・6年	
	養護教諭	南 美 和 代		
	事務主査	阿 世 知 理 恵		
中学校	教頭	福 山 成 晃		
	教諭	尾 野 島 優	1年担任	体育・技術
	教諭	里 山 智 宏	2年担任	理科
	教諭	中 里 由 佳	3年担任	英語
	教諭	西 岡 真 紀 子	1年副担任	美術・音楽
	教諭	森 節 子	2年副担任	国語
	教諭	實 田 逸 郎	3年副担任	数学
	教諭	森 真 里 子	3年副担任	家庭科
非常勤講師	福 田 芳 也		社会	
特別支援支援員	竹 平 加 代 子			

転入された先生方の紹介

氏名	前 任 校 等	写真
ふくやま しげあき	枕崎市立立神中学校	
福山 成晃	枕崎市立立神中学校	
ふじた みゆう	薩摩川内市立永利小学校	
藤田 美優	薩摩川内市立永利小学校	
さねだ いつろう	伊佐市立大口中学校	
實田 逸郎	伊佐市立大口中学校	
なかざと ゆか	育休から復帰	
中里 由佳	育休から復帰	
おのしま すくる	霧島市立年人中学校	
尾野島 優	霧島市立年人中学校	
もり まりこ	奄美市立赤木名中学校	
森 真里子	奄美市立赤木名中学校	
もり せつこ	奄美市立芦花部小中学校	
森 節子	奄美市立芦花部小中学校	
にしおか まきこ	奄美市立芦花部小中学校	
西岡 真紀子	奄美市立芦花部小中学校	

奄美群島日本復帰70周年記念入学式

今年度は、小学校が第76回、中学校が第62回目の入学式となりました。小学校は瀧田絆来（きずく）さん、中学校は井上葵音（あいり）さん、畠納惟安（いあん）さん、徳田紗和（さわ）さん、藤井優衣（ゆい）さん、松元来門（らもん）さん、若松蒼空（そら）さん、小学生1名、中学生6名の入学がありました。また、今年度は新しく、小学2年生の尾野島紬（つむぎ）さん、小学4年生の岩越未宙（みひろ）さん、中学2年の林英寿（ひでとし）さん、藤井亜衣（あい）さんも崎原校のメンバーとなりました。全校児童生徒30名となり、楽しくスタートしました。

崎原校では、今年度は「子どもが郷土を愛し、個性を伸ばしながら自己肯定感を高める教育」を目指し、子ども一人一人の個性・特性の伸長を図る活動の充実を行ってまいります。今年度も本校の教育活動への御理解・御協力よろしくお願ひいたします。



5月の主な行事

- 8日（月）いじめ問題を考える週間（～13日）
- いきいき生活ウィーク（～13日）
- 13日（土）土曜授業 引き渡し訓練
児童生徒総会
- 17日（水）交通安全教室
- 18日（木）中3実力テスト（～19日）
- 20日（土）青少年育成の日
- 21日（日）家庭の日・市民清掃の日・親子読書の日
- 24日（水）内科検診
- 26日（金）プール清掃
- 30日（火）高校説明会（中2・3）



授業参観・学級PTA・全体PTAへ御出席ありがとうございました

授業参観が行われました。中学校は、保護者の皆さんも参加しての授業も行われたようです。どの学級も楽しく授業ができました。また、全体PTAも皆さんの御協力ですムーズに進めることができました。ありがとうございました！

